

株式上場  
ニューフェイス

デジタルベリィ

◆東京プロマーケット◆  
場を上場。生成AI（人工知能）の普及で事業環境が大きく変化する中、AI時代を見据えた事業拡大に挑む。

デジタルベリィは製造業向けのホームページ（HP）制作やウェブマーケティング支援を主力とする。2004年の設立以来、情報通信や人材採用に課題を抱える中小製造業を中心に支援し、21期連続増収を達成した。8月に東京証券取引所に上場した。東京プロマーケット市況は堅調で、こうした企業



東京プロマーケット市場に上場し、AI時代を見据えた事業拡大に挑む赤羽根社長

に対し、HPや動画、SNS、パンフレット、メディア戦略を提案

検索時代 情報発信を支援

東京プロマーケット市場に上場し、AI時代を見据えた事業拡大に挑む赤羽根社長

デジタルベリィは製造業向けのホームページ（HP）制作やウェブマーケティング支援を主力とする。2004年の設立以来、情報通信や人材採用に課題を抱える中小製造業を中心に支援し、21期連続増収を達成した。8月に東京証券取引所に上場した。東京プロマーケット市況は堅調で、こうした企業

概要  
所在地 さいたま市中央区新都心11-2  
設立 2004年8月  
資本金 1億1,900万円  
売上高 2億6,200万円（26年3月期）  
従業員 22人  
上場日 10月8日  
J-REIT  
アドバイザー フィリップ・キャピタル証券

このため、従来の制作業向けHP制作で培ったノウハウを生かし、新しい情報発信支援の柱に育てる。柱となるのが「AI検索最適化（SEO）」だ。人が検索するときに、AIが最適な結果を提示できるように、ウェブサイトの構造やコンテンツを最適化する。赤羽根社長は「AIが認識しやすくなるように、ウェブサイトの構造やコンテンツを最適化する」と意気込む。導入企業は39社（さいたま・大城路で引き合いも多く、製子）